

2017年4月20日

Jストリーム、米 Collective のエンタープライズ CDN サービスを販売開始

— 社内ネットワークでの大規模動画配信を回線増強・設備投資なしで実現 —

株式会社Jストリーム(マザーズ:4308 代表取締役社長:石松 俊雄、以下Jストリーム)は、米国Collective Technology Inc.社(以下Collective社)が提供するエンタープライズCDNサービス「Collective SD ECDN」の国内販売を開始したことをお知らせいたします。

本サービスの導入により、回線増強やネットワーク機器の追加を行うことなく、社内ネットワークでの大規模な動画配信が可能となります。

■エンタープライズCDN(ECDN)サービスについて

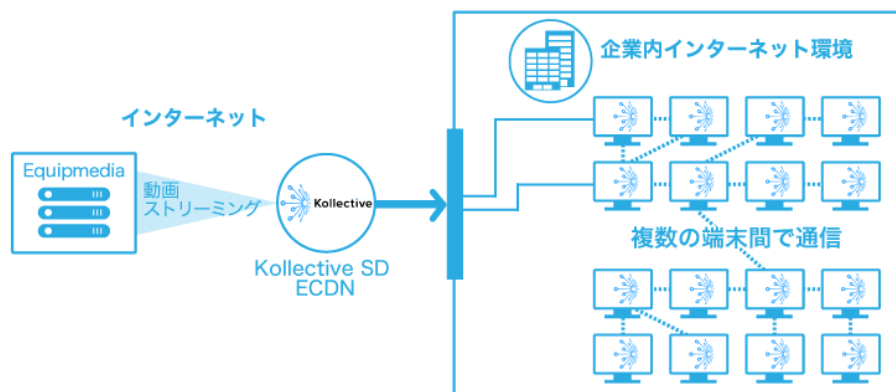
エンタープライズ CDN(ECDN:Enterprise Content Delivery Network)とは、社内ネットワーク経由のコンテンツ配信を高速化・安定化するサービスで、米国の大企業を中心に普及が進んでいます。

昨今は動画による社内広報や研修を検討する企業が増加する一方で、社内ネットワークやファイアウォールがボトルネックとなって動画を快適に視聴できない、あるいは事業拠点による視聴環境の「社内格差」が生じるなどの理由で、社内向けの動画活用を断念している企業も少なくありません。

ECDN サービスはこのような課題を解決するもので、通常は再生端末数に比例して増加するネットワークの帯域消費を抑制し、快適な動画視聴を実現するための配信サービスです。ECDN サービスを導入した企業では、企業トップが全社員向けメッセージをライブ動画で配信するような、多くの社員が同時に動画を視聴する大規模な配信で、その有効性が特に顕著に表れます。

■「Collective SD ECDN」サービスと3つのポイント

米Collective社のECDNサービス「Collective SD ECDN」は、独自の配信技術で動画配信に伴う帯域消費を90%以上削減し、社内ネットワーク経由の配信を高速化・安定化するサービスです。



・本サービスの3つのポイント

1. 社内ネットワークの帯域消費を抑制し、大規模な動画配信が可能

独自の配信技術により、通常は再生端末数に比例して増加するネットワークの帯域消費を抑制します。これにより、これまで社内ネットワークやファイアウォールの帯域的な制約で実現が不可能だった企業でも、あらゆる拠点で快適な動画視聴が可能となります。

2. 回線増強・設備投資が不要なため、拠点数が多い大企業に最適

ソフトウェア形式 (SD: Software Defined) で提供されるサービスのため、回線増強やネットワーク機器追加などの設備投資や運用が不要です。そのため、事業拠点数が多い企業ほど、Collective SD CDNはコスト優位となる特徴があります。

3. 高いセキュリティレベル

エンタープライズ向けサービスとして求められる高いセキュリティレベルを満たす、配信技術および設計適合性・統制運用のもとでサービスが提供されています。

具体的には、秘密鍵を用いた専用配信プロトコルによる特許取得済の配信技術、SOC-2 (旧SAS-70 Type II) の認証の例を挙げるすることができます。

・「Collective SD ECDN」サービス詳細

www.stream.co.jp/service/cdn/ecdn/

・Collective社CEO Dan Vetras氏のコメント

「Collectiveブランドが全世界へ拡大する中、Jストリームとのパートナーシップは日本市場でのビジネス拡大に向けた重要なチャンスを含みます。完璧なコンテンツ配信を実現することに対する当社のコミットメントをJストリームには十分評価いただき、CollectiveのECDNサービスとJストリームの先進的な動画配信サービスの組み合わせは、日本企業の社内コミュニケーションのやり方を見直す最良の機会を提供することになるでしょう。」

■Collective社 (Collective Technology Inc.について)

米Collective社は、最大規模の有力グローバル企業が全世界の数百万の社員に向けて実施する、ライブを含めた社内向け動画配信を数多く担っています。ソフトウェア形式のエンタープライズ向けCDNサービス (SDCDN: Software Defined Content Delivery Network) から、ネットワーク可用性テストなどのエッジ関連ITツール、ソフトウェア配信やネットワーク解析まで、Collectiveは高いROIとソフトウェア形式によるネットワークによる柔軟性を実現します。

■株式会社Jストリームについて

Jストリームは1997年の設立以来、動画配信を主軸として事業展開を続けております。自社で保有・運営する独自のコンテンツ配信ネットワーク (CDN) を活用した動画配信に加え、これまで積み上げてきたノウハウを活かした動画の企画・制作・運用から、Webサイト制作、システム開発、動画広告による収益化支援まで、総合的なサービスとソリューションを提供し、企業のマーケティングやコンテンツビジネスなどを支援しております。

社名 (商号) : 株式会社Jストリーム (英文: J-Stream Inc.)
証券コード : 4308 (東証マザーズ上場)
設立 : 1997年5月
資本金 : 21億8,237万円 (2017年3月末現在)

代表者 : 代表取締役社長 石松 俊雄(いしまつ としお)
事業内容 : (1) インターネットを利用した動画データ・画像データ・音声データの提供サービス業
(2) インターネットを利用した会員情報管理、商取引、決済処理に関する業務の受託
(3) テレビ番組、音声・映像ソフト等のデジタルコンテンツ、出版物の企画・制作及び販売業
(4) コンピュータに関するハードウェア・ソフトウェアの開発・販売
(5) インターネットを利用した各種情報提供サービス業
(6) インターネットに関する技術指導・コンサルテーション
(7) 広告代理店業

URL : www.stream.co.jp/
本社 : 〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 6 階
Tel 03-5765-7000 Fax 03-5765-3520
西日本営業所 : 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-31 京阪堂島ビル 5 階
Tel 06-4796-6160 Fax 06-4796-6166

■本件に関する報道関係お問い合わせ先

株式会社Jストリーム 管理本部 総務部 広報 IR 課 (担当:常富)
Tel 03-5765-7744
Email 用コンタクト URL www.stream.co.jp/contact/